



野木町長
真瀬宏子

ひろ コラム

No.152

昭和100年の今年

令和7年の今年、昭和に換算すれば昭和100年となる年だそうです。西暦では2025年から数字通りずっと続いていきますが、日本では天皇陛下のご即位時において年号が変わり明治、大正、昭和、平成、令和と1868年からでも5つの時代が変わりました。私が子どもの頃は「もう明治も遠くなったね。」と大人の人たちが話していたのを思い出します。まだ車もテレビもない時代はどんな暮らしをしていたのか、と想像することは、私にとってとても楽しいひと時でした。

そんな私がこの頃は、各地で昭和のノスタルジーを感じさせるような展示物を見たりしますと、つい子どもの頃を思い出してしまいます。入場者もお互いに楽しそうに語り合って懐かしんでおられるのもほほえましい

限りです。今の私は昭和という時代に育ち、現在は平成を越えて、もう令和の時代も7年が過ぎようとしています。光陰矢の如し、と言いますが、早いもので、昭和も遠くなりつつあるのかなと実感しております。

私たちの国にはこの独特の年号があるおかげで、おおまかな時代の流れを読み取ることができ、お互いに〇〇生まれということで見分け合えるたくさんの方がいると思います。文明開化の明治時代、大正ロマンの時代、戦後のモーレツ社員や急成長がめざましい昭和の時代、みんなが平らかに成り平和であることが当たり前の平成の世、そしてこの令和という時代は後の世にどんな時代と言われるのだろう。皆、いつの世も一生懸命生きていることは間違いないけれど。

少し遠い時代となってきた昭和の生活スタイルなど、各地での展示物を見るにつけて、だんだん遠くなる昭和の記憶を心に留めておきたいと、ふと思ったりするこの頃です。

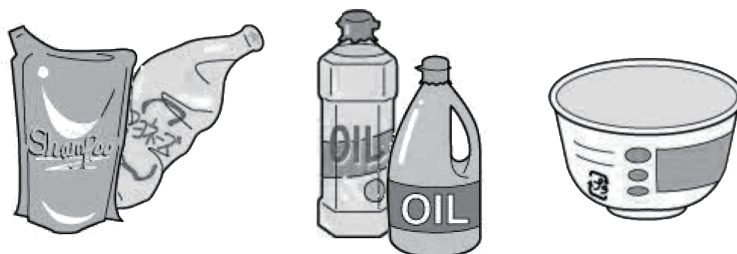
シリーズ 野木町のごみ処理 164 問生活環境課 ☎(57)4246

プラ容器はどのくらい洗えばいいのかしら問題

町ではプラ容器の分別収集をしていますが、プラ容器は汚れているとリサイクルに適さないのを洗って出してもらうようお願いしています。

このプラ容器について「どのくらい洗えばいいのか分からない」、「完全に汚れが落ちないから、もやすすかないのかな?」といったお問合せを受けることがあります。

プラ容器はきれいに洗ってもらえるのがベストではありますが、洗剤を使ってピカピカになるまで洗ってもらう必要はありません。水でゆすいでいただいて、固形物が落ちていけばプラ容器として再資源化することができます。例えば油の入っていたプラ製のボトルや、マヨネーズのチューブなどの内側を洗いにくいものや、水洗いで落ちないような色染みがついたカップ麺の容器なども、水洗いで固形物が除去できていけばプラ容器として再資源化することができます。



分別収集したプラ容器は南部清掃センターに搬入された後、手選別でリサイクルに適さない物を除去する工程がありますので、プラ容器としてリサイクルできるかどうか迷った場合はプラ容器で出してください。

但し、何でもかんでもプラ容器に入れるのではなく、あくまでもプラ容器として分別できるか否か迷った場合だけです。異物がプラ容器に入るとリサイクルに適さないばかりか、施設の損傷の原因にもなります。手選別の工程でプラ容器に含まれた異物のすべてが取り除けるわけではありませんので、改めて皆様には日頃からのごみ分別にご協力くださるようお願いいたします。